

URL <http://aomori.lin.gr.jp>

畜産協会だより

Vol.18

発行
社団法人 青森県畜産協会

平成24年度家畜衛生功労者

青森県畜産協会では地域の生産者や指導者の中から功労のあった方々を表彰しています。
本年度の6月初旬までに表彰した3名についてご紹介します。

東青地区



小鹿浩嗣（こしか ひろつぐ）

青森農業協同組合今別支店において畜産全般の業務を担当するかたわら、平成19年からは空き牛舎を借り受け、町事業及び自己資金で肉用繁殖育成牛5頭導入し飼育を開始。平成22年にさらに2頭導入、自ら中規模繁殖農家として畜産経営を実践している。家畜衛生に対する意識が高く、疾病発生予防のために予防接種等についても実施を促進している。

また繁殖交配・育種改良技術でも研鑽に励み、子牛市場では月間高値販売賞を受賞する等、肉用牛振興の若手リーダーとして期待されている。

三八地区



戸田広孝（とだ ひろたか）

祖父の代より始めた酪農を昭和48年に引継ぎ、優良育成牛の導入などにより本格的に酪農に従事し、放牧酪農取り入れ乳牛の特性を生かした経営を実践してきた。昭和58年には地域の酪農家と田子町農協酪農青年部会を立ち上げ、初代部会長として地域の酪農の発展に貢献してきた。現在は後継者に経営を引き継いだものの、乳用牛の飼養管理技術は、他の模範となっており地域のリーダー的存在として畜産振興に大いに貢献している。



澤田 恵（さわだ さとし）

昭和55年3月、北里大学を卒業後、共済連獣医師を経て昭和60年4月より三戸畜産農業協同組合の獣医師、また平成8年4月より同組合の嘱託獣医師として、地域の産業動物診療の傍ら、飼養管理及び家畜衛生の向上に取り組んで来た。現在は、三戸畜産農業協同組合代表理事組合長、三戸地方黒毛和種育種組合長の要職も務めるなど地域の和牛振興の取りまとめ役として活躍している。

また、平成8年から三戸町議会議員として町政にも参加し、地域の畜産振興に大いに貢献している。

生産者補助金 交付状況

○肉用子牛生産者補給金 交付状況

品種区分		黒毛和種	褐毛和種	その他肉専用種	乳用種	乳用交雑種
保証基準価格		310,000円	285,000円	204,000円	116,000円	181,000円
合理化目標価格		268,000円	247,000円	142,000円	83,000円	138,000円
平成23年度 第4四半期 (1月～3月)	平均売買価格	424,200円	331,600円	152,400円	89,900円	240,700円
	交付単価	—	—	51,600円	26,100円	—
	交付額	—	—	5,005,200円	27,378,900円	—

○肉用牛繁殖経営支援事業 支援交付金交付状況

品種区分		黒毛和種	褐毛和種	その他肉専用種
発動基準		380,000円	350,000円	250,000円
保証基準価格		310,000円	285,000円	204,000円
平成23年度 第4四半期 (1月～3月)	平均売買価格	424,200円	331,600円	152,400円
	交付単価	—	13,800円	34,500円
	交付額	—	0円	3,346,500円

○養豚経営安定対策事業 補てん金交付状況

	保証基準価格	枝肉平均価格	補てん金単価
平成23年度 第4四半期 (1月～3月)	460円/kg	398円/kg	3,810円/頭

○肉用牛肥育経営安定特別対策事業 補てん金交付状況

		肉専用種	交雑種	乳用種	交付日
平成24年 2月期	機構公表単価	67,000円	150,800円	124,100円	4月27日
	青森県交付単価	67,000円	150,800円	73,100円	
平成24年 3月期	機構公表単価	39,900円	152,300円	124,500円	5月25日
	青森県交付単価	39,900円	152,300円	72,700円	

平成24年度新マルキン事業に係る推進会議 開催



平成24年5月15日、青森市において、「平成24年度肉用牛肥育経営安定特別対策事業（新マルキン事業）推進会議が開催された。会場には、県庁畜産課、各地域県民局、農協担当者など45名が参加した。開会挨拶で、当協会の山田専務理事は「乳用種と交雑種で生産者積立金単価が増額になったが、より多くの補填金財源を確保できるようになる。また、緊急支援事業については、返還請求が始まり、精算までは長い時間がかかると思うが皆さまのご協力をお願いしたい。」と述べた。

会議では、マルキン事業の今年度の概要、緊急支援事業の実績や支援金返還方法等について説明された。また、県畜産課より県産牛肉の安全性確認検査についての報告があり、それによると平成23年8月17日から平成24年5月8日までに県内でと畜されたすべての牛肉からは基準値を上回る放射性セシウムは検出されなかった。

●おしらせ● 新マルキン事業 毎月補填を延長実施します

平成24年4月期販売分について、毎月補填を実施します。5月期販売分以降については、決まり次第ご報告します。

平成24年度 養豚経営安定対策事業 説明会開催



養豚経営安定対策事業は、全国の豚枝肉卸売平均価格が生産コストに相当する保証基準価格を下回った場合にその差額の8割を補てんする事業で、平成23年度から28年度までの6年間実施されることとなっている。24年度から生産者積立金単価等が変更されることとなり、青森市・十和田市・八戸市の3会場で養豚経営安定対策事業の説明会を開催した。

説明会には養豚生産者及び関係団体が出席し、24年度事業に関する質問のほか23年度第4四半期の積立金納付・補填金交付について質問があった。

24年度事業の変更点

- ① 生産者積立金：700円/頭（抛出割合 生産者：国＝1：1）
（平成23年度第1～3四半期：580円/頭、第4四半期：1,050円/頭）
- ② 事業対象頭数：前年度の出荷頭数×100/101又は前年度の事業対象頭数を上限とする。
- ③ 事業参加要件・事業対象頭数確認書を作成し、機構へ提出（6/11まで）

平成23年度第4四半期の納付手続等

○生産者積立金について

補填金財源の確保のため、580円/頭から1,050円/頭へ引き上げられましたが、納付対象頭数のうち販売実績がなかった頭数分については、下記の条件を満たした場合に引き上げ分が免除されることとなりました。

- ① 23年度事業対象頭数を22年度事業対象頭数以下にしていた場合
- ② 23年度事業対象頭数を22年度出荷頭数以下にしていた場合
- ③ 24年度事業対象頭数を23年度の出荷頭数×100/101又は22年度事業対象頭数以下に設定する場合

○補填金交付について

生産者積立金納付後（納付期限6/14まで）、補填金単価を確定し（6/19予定）、交付申請書の提出があった生産者から6/29以降随時支払われます。

●おしらせ●

肉用牛肥育経営緊急支援事業 緊急支援金の返還請求について

肉用牛肥育経営緊急支援事業（5万円事業）の返還請求については以下のとおりです。

1 緊急支援金交付実績

平成23年3月11日の福島第一、第二原子力発電所事故の影響により、枝肉価格の低下から資金繰りが悪化し経営の継続が困難となった者に対し、独立行政法人農畜産業振興機構の補助により、肉用牛肥育経営に対する「つなぎ融資資金」として緊急支援金を平成23年10月7日付けで、78事業対象者へ1,324,800千円を交付しました。

2 緊急支援金相当額の返還請求及び返還

四半期ごとに販売異動及び請求月齢の超過（肉専用種：満40か月齢、交雑種：満38か月齢、乳用種：満32か月齢を超えた場合）があった事業対象牛に対し請求を行います。

①第2回返還請求に係る返還金の返還及び返還計画の提出について

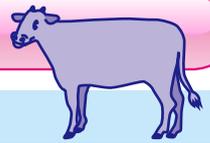
- i) 平成24年1～3月期における販売異動及び請求月齢の超過があった牛に対し、平成24年5月28日付けで返還請求を行います。（返還計画を添付）
- ii) 平成24年6月27日（水）までを返還期限とします。

但し、第2回返還請求に係る返還金を全額返還する場合は、返還計画の提出は不要です。返還期限までに返還が困難な場合に限り、返還計画を平成24年6月22日（金）までに提出して下さい。

お問合せ先 経営支援課

肉用牛肥育経営緊急支援事業担当 TEL：017-723-2775

青森県家畜市場成績（七戸）



子牛 市場成績表 【開催日 24年4月13日】〈速報値〉

1、販売価格 税込み【子牛】

品 種	性	今 回 分							前 回 分			Kg単価 増減
		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均日令	平均体重	Kg単価	頭数	平均価格	Kg単価	
黒毛和種	雄											
	去	413	677,250	181,650	460,823	305	311	1,479	388	486,180	1,573	-94
	雌	283	638,400	105,000	376,382	317	289	1,301	293	392,388	1,367	-66
	【小計】	696	677,250	105,000	426,489	310	303	1,410	681	445,826	1,488	-78
乳用交雑種	雄											
	去											
	雌	1	210,000	210,000	210,000	227	280	750				
	【小計】	1	210,000	210,000	210,000	227	280	750				
和牛間交雑 (短黒×黒)	雄											
	去	1	201,600	201,600	201,600	334	321	628				
	雌											
	【小計】	1	201,600	201,600	201,600	334	321	628				
	主											

・黒毛和種の取引頭数は696頭で、前回より去勢25頭増、雌10頭減、全体で15頭増となった。
 ・黒毛和種の平均価格は426千円で、前回より去勢25千円安、雌16千円安、全体で19千円安となった。

2、主な種雄牛の販売価格 税込み【子牛】

名 号	去 勢					雌					合 計							
	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	単価	日令	割合(%)			
第1花国	200	472,820	314	1,507	305	127	378,595	291	1,300	316	327	436,225	1,430	310	49.0			
北平安	14	463,800	325	1,427	312	13	347,388	278	1,249	318	27	407,750	1,348	315	4.1			
第2花国	17	466,138	304	1,534	306	4	394,538	294	1,342	324	21	452,500	1,498	309	3.2			
第2平茂勝	15	462,560	317	1,461	315	10	335,895	284	1,183	313	25	411,894	1,357	314	3.8			
安茂勝	30	479,185	321	1,492	303	25	382,746	300	1,275	322	55	435,349	1,397	312	8.3			
茂勝栄	9	446,367	314	1,420	303	10	346,710	292	1,187	319	19	393,916	1,302	311	2.9			
総合計	399	462,882	312	1,483	305	268	374,940	290	1,293	317	※その他省略			667	427,547	1,410	310	100.0

・最も取引頭数の多かった種雄牛は「第一花国」で49.0%、次いで「安茂勝」8.3%となった。
 ・第一花国の平均価格は436千円で、前回に比べ21千円安となった。単価は1,430円で前回より89円安となった。

【開催日 24年5月11日】〈速報値〉

1、販売価格 税込み【子牛】

品 種	性	今 回 分							前 回 分			Kg単価 増減
		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均日令	平均体重	Kg単価	頭数	平均価格	Kg単価	
黒毛和種	雄											
	去	423	691,950	135,450	445,711	301	318	1,402	412	461,100	1,479	-77
	雌	307	664,650	105,000	368,817	312	292	1,265	283	376,364	1,300	-35
	【小計】	730	691,950	105,000	413,373	306	307	1,347	695	426,596	1,410	-63
日本短角種	雄											
	去	2	81,900	56,700	69,300	277	340	204				
	雌											
	【小計】	2	81,900	56,700	69,300	277	340	204				
	主											

・黒毛和種の取引頭数は730頭で、前回より去勢11頭増、雌24頭増、全体で35頭増となった。
 ・黒毛和種の平均価格は413千円で、前回より去勢15千円安、雌8千円安、全体で13千円安となった。

2、主な種雄牛の販売価格 税込み【子牛】

名 号	去 勢					雌					合 計							
	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	単価	日令	割合(%)			
第1花国	187	464,302	323	1,436	302	154	381,723	296	1,290	314	341	427,008	1,373	307	46.8			
北平安	26	438,254	314	1,395	306	13	330,992	272	1,216	317	39	402,500	1,341	310	5.4			
第2花国	14	420,450	316	1,331	298	9	352,100	275	1,279	309	23	393,704	1,313	302	3.2			
第2平茂勝	11	349,364	297	1,176	317	16	342,759	284	1,206	311	27	345,450	1,194	314	3.7			
安茂勝	37	484,220	328	1,475	296	19	373,192	294	1,271	306	56	446,550	1,411	300	7.7			
茂勝栄	14	400,575	320	1,252	302	12	384,125	313	1,228	314	26	392,983	1,241	308	3.6			
総合計	423	445,711	318	1,402	301	306	369,339	292	1,267	312	※その他省略			729	413,654	1,348	306	100.0

・最も取引頭数の多かった種雄牛は「第一花国」で46.8%、次いで「安茂勝」7.7%となった。
 ・第一花国の平均価格は427千円で、前回に比べ9千円安となった。単価は1,373円で前回より57円安となった。

次回開催日は6月8日（金）です。

公共牧場で開牧始まる

今年も県内の公共牧場で開牧が始まった。

5月15日、十和田市にある法量牧野畜産農業協同組合の湯野平牧場にて、開牧式典及び駒ヶ岳神社の大祭行事が行われた。

式典では同組合の川村慎一組合長が、「今年は残雪が多く放牧が遅れている。昨年はヨーネ病の発生や災害による影響もあったが、それに負けず今年も放牧頭数の増頭に向けて頑張りたい」と挨拶した。また、上北地域県民局からは簡易更新や畜舎消毒に対する補助事業について説明があった。

同市には8つの公共牧場があり、平成22年度に公共牧場再生協議会を立ち上げ、牧場の一元管理や活用方策について協議を重ねている。平成24年度は生産性向上に係る現地検討会の開催や3年間の活動についての報告会などが計画されている。



西北地域で立毛放牧

西北地域県民局地域農林水産部は今年、水田を活用した立毛放牧の実証展示を行う。

当地域は、県内でも有数の水田面積を持ち、稲わらや転作田の飼料作物を利用した水田との複合経営が盛んだ。輸入飼料の高止まりによる経営悪化を改善するため「西北地域飼料用稲利用拡大協議会」を設立し、平成24年度から2カ年間自給飼料基盤に根ざした畜産の確立へ向けて取り組む。

5月24日鱒ヶ沢町にて第1回の協議会が開催され、つがる市の水田（20a）で実施される立毛放牧実証や先進的に取り組んでいる秋田県由利本荘市への現地視察など、今年の計画について話し合われた。

春から秋までは公共牧場を利用し、秋から初冬まで水田を活用した立毛放牧、初冬から春までは稲発酵飼料での飼育と、年間を通じて自給飼料による牛づくりを目指す。



短角牛の消費拡大事業 スタート

当協会では今年度、(財)むつ小川原地域・産業振興財団の支援を受け、下記のおおもり短角牛消費拡大普及事業を実施する。

(1) おいしさ分析・提案書作成

短角牛の赤身のおいしさを味分析し、短角牛の訴求ポイントを明らかにする。

(2) 消費者向け試食会

短角牛を消費者に試食させ、美味しさを表現するフレーズを集める。

(3) 料理人向け講習会

短角牛を用いた料理を講師シェフに作成してもらい、県内の料理人に短角牛の特性を理解してもらおうと共に、メニューへ加えてもらう講習会を開催する。

本県の特産畜産物である日本短角牛の魅力の本事業により料理人や消費者に広くPRし、さらなる消費拡大を図ることで生産者の意欲向上につなげたい。



春の一斉予防注射 スタート

十和田市地域において4月16日から8日間、毎戸巡回で予防注射を実施しました。
4月25日十和田市寺地、程野、板橋、夏間木を高村獣医師と十和田市職員の方々と同行いたしました。(価格安定・衛生課 担当)



生産者の皆さまへお知らせ

平成24年度 家畜伝染病予防接種手数料について

平成24年度は、牛伝染性鼻気管炎（IBR 5種混合・6種混合）が補助事業の対象外となり、またアカバネ病についても補助単価の減額により手数料の見直しを行いました。
平成24年4月から下記の手数料で取進めることといたします。

H24.4.1

予防接種事業		対象	予防接種手数料 (円)	備考
(1) 補助事業				
牛	牛アカバネ病	牛	1,950	
	牛流行熱・イバラキ病 (混)	牛	1,100	
	牛異常産 (3種混合)	牛	1,990	
馬	馬インフルエンザ・流脳・破傷風 (混)	馬	1,730	軽種・農用馬 (1・2歳)
	馬インフルエンザ	馬	1,235	軽種・農用馬 (1・2歳、繁殖牝補強)
	馬流行性脳炎	馬	575	軽種・農用馬 (2歳補強)
	馬鼻肺炎	馬	4,340	繁殖牝馬
(2) 協会事業				
豚	豚丹毒 (生) 20ml	豚	185	20ml
	豚丹毒 (生) 50ml	豚	180	50ml
	豚丹毒 (不・オイル)	豚	195	(インターベット)
	豚流行性脳炎	豚	570	
	豚流行性脳炎・パルボウイルス (混)	豚	1,100	
	豚パルボウイルス感染症	豚	990	
牛	牛伝染性鼻気管炎 (5種混)	牛	2,050	
	牛伝染性鼻気管炎 (6種混)	牛	2,400	
	牛クロストリジウム感染症 (3種混)	牛	1,300	
	牛クロストリジウム感染症 (5種混)	牛	1,650	
	牛ヘモフィルス感染症	牛	1,300	
	牛下痢5種混合	牛	2,400	
馬	馬インフルエンザ・流脳・破傷風 (混)	馬	3,215	(補助対象以外の馬)
	馬インフルエンザ	馬	2,265	(補助対象以外の馬)
	馬流行性脳炎	馬	1,085	(補助対象以外の馬)
	馬鼻肺炎	馬	8,095	(補助対象以外の馬)
鶏	ニューカッスル病	鶏	1.6	
	ニューカッスル病・伝染性気管支炎 (混)	鶏	2.0	

(注1) 手数料は、1頭(羽) 1回当たりの生産者負担額です。手数料は、消費税を含んでいます。

(注2) 距離が遠い場合や頭数が少ない場合には、別に往診料の負担をお願いする場合があります。

Jr. 野菜ソムリエのSです。畜産と野菜を合わせた情報をお届けします。



Jr. 野菜ソムリエSさんの チクサンと野菜のマリアージュ

相乗効果バッチリ！牛肉とゴボウのしぐれ煮

ゴボウには沢山の食物繊維が含まれ、抗細菌作用があります。

牛肉に含まれるメチオニンがゴボウに含まれるリグニンの作用を高め、がん予防に対する相乗効果が期待できます。

過労で体がだるい人！
貧血に悩んでいる人！
におすすめの一品！



堆肥を販売される皆さまへ

堆肥販売仲介サービスはじめます

協議会があなたに代わって堆肥のPR&販売の仲介を行います

耕種農家が
集まるイベントで
堆肥をPR!



- ＜サービス内容＞
堆肥販売に対する仲介・斡旋（中間マージンは発生しません）
- ＜サービスを受ける条件＞
- ①あおり堆肥ネットワーク推進協議会の会員であること
 - ②堆肥の成分分析を実施していること
 - ③堆肥生産・販売の届出が行われていること
 - ④原則、袋詰めされていること（バラは応相談）
 - ⑤堆肥サンプルを協議会へ無償で提供できること
 - ⑥取引が成立した場合、協議会へ報告すること

お申し込み・お問合せは
あおり堆肥ネットワーク推進協議会まで
（事務局：青森県畜産協会）
TEL：017-723-2775



フェイスブック始めました

イイネ！しておく、と、協議会から
情報が届きます。



作る・使う・探す 耕畜連携して堆肥を使うための協議会ができました

あおり堆肥ネットワーク推進協議会 会員募集

- ＜活動内容＞
- 土づくり講習会
 - 堆肥生産情報の提供
 - 堆肥品評会
 - 生産技術指導 など

一般会員（生産者向け）

事務局（社）青森県畜産協会
【お問合せ】TEL 017-723-2775





インフォメーション



あおもり畜産堆肥展示会を開催します!

【第1回（七戸会場）】 南部クボタ株式会社の農機具展示会と共催です。

○開催日時：6月21日（木）～24日（日）9：00～15：00

○場 所：七戸町立体育館（七戸町字蛇坂57番地36）

【第2回（六戸会場）】 ヤンマー農機販売株式会社の農機具展示会と共催です。

○開催日時：7月19日（木）～22日（日）9：00～15：00

○場 所：ヤンマー農機販売（株）（六戸町大字折茂字沖山10-117）

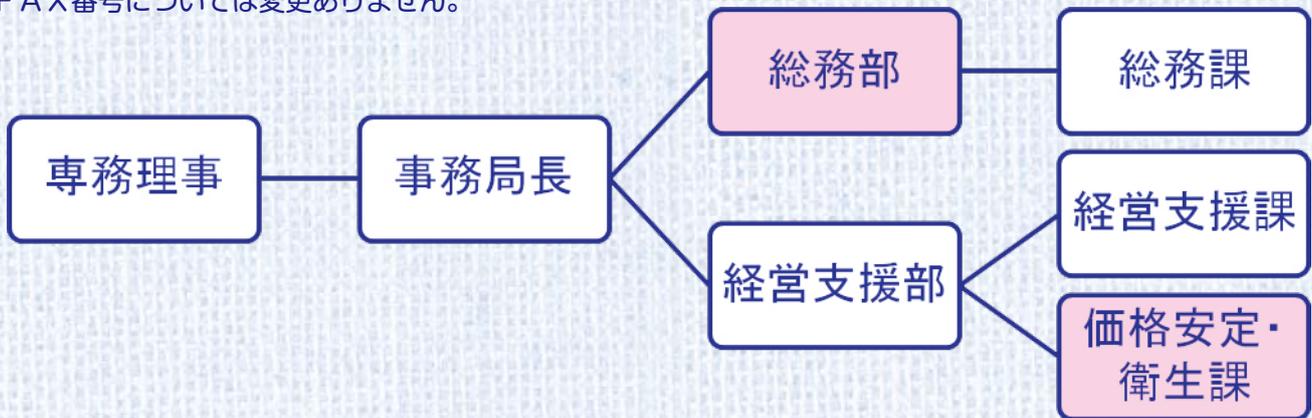


〈内容〉堆肥の展示コーナー、相談コーナー、斡旋コーナーなど

ご参加お待ちしております♪

●協会の組織変更のお知らせ●

4月1日より、業務の効率化を図るため、組織変更を行いましたのでお知らせいたします。なお、電話番号、FAX番号については変更ありません。



ビルの上にいる牛が目印です。



MAP



社団法人 青森県畜産協会

〒030-0822 青森県青森市中央二丁目1番15号（畜連ビル）

総務課 Tel(017)723-2523(代)

経営支援課 Tel(017)723-2775

価格安定・衛生課 Tel(017)722-4331(衛生)

Tel(017)718-3809(価格)

FAX (017)731-1196

URL <http://aomori.lin.gr.jp>

E-mail info@aomori.lin.gr.jp